

169 お待たせしてしまって申し訳ありません。

□□□ I'm sorry to () () () () .

Tip 「待たせる」は「あなたを待っている状態にしておく」と考え、to不定詞の中をVOCで表す。「待たせておく」動作が継続しているので時制はどうする？

170 何か進展があれば随時私に知らせておいてください。

□□□ Please (k) () (i) of any developments.

Tip 「私」が「知らされている」状態を「保つ」と表現する。
受動の関係を含む、VOCの表現。

171 昨夜のコンサートで先生が踊っているのを見た。

□□□ I at the concert last night.

基本 **Tip** 「先生」が「踊っている」という能動の関係を含む〈知覚動詞+O+C〉の表現。

172 私は名前を呼ばれて辺りを見回した。

□□□ I () my () (c) and looked around.

基本 **Tip** 「名前を呼ばれる」は「名前が呼ばれるのが聞こえる」と表現する。
受動の関係を含む〈知覚動詞+O+C〉の表現。

173 昨夜のコンサートで先生は踊っているところを見られた。

□□□ My teacher () () () at the concert last night.

Tip 〈知覚動詞+O+現在分詞〉を受動態にすると？

File 25

SVOC (C = 分詞) の形をとる動詞：□ + O + doing/done

- keep + O + C 「O を C [の状態] にしておく」
- leave + O + C 「O を C [の状態] に放っておく」
- find + O + C 「O が C [の状態] であるとわかる」
- want + O + C 「O が C する [される] のを望む」
- catch + O + C 「O が C しているところを見つける」

Words to Use keep / inform / see / hear / call

169 I'm sorry to have kept you waiting.

F 105

▶ to不定詞の中での(S)VOCのCが現在分詞。O(you)とC(waiting)は能動の関係。受動の関係ではない(×keep you waited)。「これまでずっと待たせておいた」という意味で、完了不定詞(to have kept ...)にする。

I kept you waiting for an hour. (私はあなたを1時間待たせた。)

S V O C

You were waiting. (あなたは待っていた。)[能動の関係]

□ keep A doing 「A に～させ続ける」

170 Please keep me informed of any developments.

F 105

▶ (S)VOCのCが過去分詞。O(me)とC(informed)は受動の関係。

Keep me informed. (随時私に知らせておいて。)

V O C

I am informed. (私は知らされている。)[受動の関係]

○ be informed of A 「A について知らされている」

171 I saw my teacher dancing at the concert last night.

F 106

▶ 知覚動詞+O+現在分詞。O(my teacher)とC(dancing)は能動の関係。

⇒ V119-p.8

I saw him dancing. (彼が踊っているのを見た。)

S V O C

He was dancing. (彼は踊っていた。)[能動]

172 I heard my name called and looked around.

F 106

▶ 知覚動詞+O+過去分詞。O(my name)とC(called)は受動の関係。

I heard my name called. (自分の名前が呼ばれるのが聞こえた。)

S V O C

My name was called. (私の名前が呼ばれた。)[受動]

○ look around 「見回す」

173 My teacher was seen dancing at the concert last night.

□ A is seen doing 「A は～しているところを見られる」—動作の途中の一時点。

▶ see A doing 「A が～しているのが見える」の受動態。

⊕ A is seen to do 「A は～するのを見られる」—動作の最初から最後まで。⇒ 123

File 26

知覚動詞+O+現在分詞/過去分詞：□ + O + doing/done

- see A doing/done 「A が～している [される] のが見える」
- look at A doing/done 「A が～している [される] のを見る」
- watch A doing/done 「A が～している [される] のをじっと見る」
- hear A doing/done 「A が～している [される] のが聞こえる」
- listen to A doing 「A が～しているのを聞く」
- feel A doing/done 「A が～している [される] のを感じる」
- notice [observe] A doing/done 「A が～している [される] のに気づく」

174-1 写真を撮られるのが好きではない人もいる。
☐☐☐ Some people do not like () their picture ().
Tip 「写真を撮られる → 自身の写真を撮ってもらう」。
 「…を～してもらう」という使役を表す表現は?

174-2 私はローマの地下鉄で財布を盗まれた。
☐☐☐ I (h) my wallet () on the subway in Rome.
Tip 「…を～される」という被害を表す表現は?

174-3 明日までにこのレポートを仕上げる必要がある。
☐☐☐ I need to (g) this paper () by tomorrow.
Tip 「レポートを仕上げる → レポートを終えてしまう」という完了を表す表現。

175 私は何とか英語で意思を伝えることができた。
☐☐☐ I managed to () () () in English.
発展 **Tip** 「意思を伝える → 自分自身を(相手から)理解されるようにする」と表現する。

176 騒音の中、私は自分の声を届けるために大声を出さなければならなかった。
☐☐☐ I had to shout to () () () above the noise.
発展 **Tip** 「自分の声を届ける → 自分自身を(相手に)聞かれるようにする」と表現する。

177 ケンは涙を流しながらその映画を見た。
☐☐☐ Ken watched the movie () (t) (r) down his face.
Tip 「涙を流しながら → 涙が流れている状態で」と表現する。
 「涙」が「流れる」という能動の関係だから分詞の形は?

178 その女性は腕を組んで立っている。
☐☐☐ The woman is standing () her (a) ().
Tip 「腕を組んで → 腕が組まれた状態で」と表現する。
 「腕」が「組まれる」という受動の関係だから分詞の形は?

179 彼らは今週末の吹奏楽演奏会の練習で忙しい。
☐☐☐ They (a) () () for the brass band concert this weekend.
Tip 「練習で忙しい → 練習するのに忙しい」と表現する。

174-1 Some people do not like **having** their picture **taken**.
 F 107 ▶ **have** [get] + O + **過去分詞**は、以下の3つの意味を表す。
☐ **have A done** } ① 使役・依頼「A(物)を～してもらう」
☐ **get A done** } ② 被害「A(物)を～される」
 } ③ 完了「A(物事)を(自分で)～してしまう」
 Aは目的語(O)。Aと過去分詞は「Aが～される」という関係(A is done)。
 They had their picture taken. (彼らは写真を撮ってもらった。)[依頼]
 S V O C
 Their picture was taken. (彼らの写真が撮られた。)[受動]

174-2 I **had** my wallet **stolen** on the subway in Rome.
 F 107 ▶ 〈have + O + 過去分詞〉が被害を表す。⇒ 174-1
 I had my wallet stolen. (私は財布を盗まれた。)[被害]
 S V O C
 My wallet was stolen (財布が盗まれた。)[受動]

○ **steal** 「～を盗む」一活用は steal—stole—stolen

174-3 I need to **get** this paper **finished** [**done**] by tomorrow.
 ▶ 〈get + O + 過去分詞〉が完了を表す。⇒ 174-1
 ○ **get A finished** / **get A done** 「Aを終わらせる」

175 I managed to **make myself understood** in English.
 F 107 ☐ **make oneself understood** 「自分の言うことを理解してもらう」
 ○ **manage to do** 「何とか～する」

176 I had to shout to **make myself heard** above the noise.
 F 107 ☐ **make oneself heard** 「自分の声を聞かせる」
 ○ **above** [**over**] **the noise** 「騒音より大きく、騒音に負けなくらいに」

177 Ken watched the movie **with tears running** down his face.
 F 112 ☐ **with A doing** 「Aが～している状態で」
 ▶ Aと現在分詞は能動の関係(A is doing)。「～している状態で」という付帯状況。
 ○ **tears run down A** 「Aを涙が流れ落ちる」一tearsは複数形

178 The woman is standing **with her arms crossed** [**folded**].
 F 112 ☐ **with A done** 「Aが～された状態で」
 ▶ Aと過去分詞は受動の関係(A is done)。「～された状態で」という付帯状況。
 ○ **cross one's arms** / **fold one's arms** 「腕を組む」

179 They **are busy practicing** for the brass band concert this weekend.
☐ **be busy (in) doing** 「～するのに忙しい」

- 180 多くの子どもはスクリーンを見るのに時間を使い過ぎだ。
☐☐☐ Many children () () () (t) (l) () screens.
基本 Tip 「スクリーンを見ながらあまりにも多くの時間を過ごす」と表現する。
- 181 多くの家庭が子どもの教育費の支払いに苦労している。
☐☐☐ Many families () (d) () () their children's education.
Tip 「支払いに苦労している → 支払うのに困難を持っている」と表現する。
- 182 その男性はカフェで新聞を読みながらコーヒーを飲んでいる。
☐☐☐ The man is drinking coffee, () () () in a café.
基本 Tip 2つの事柄が同時に起こっているときに使う構文は? 「～しながら…」
- 183 アプリの使い方がわからず、友達に助けを求めた。
☐☐☐ () (k) (h) () use the app, I asked my friends for help.
基本 Tip 「使い方がわからず → 使い方を知らないで」と表現する。Because [Since] I don't know ... と同じ意味を分詞構文で表すと? 否定形の分詞構文の形は?
- 184 本を読み終えて、図書館に返却した。
☐☐☐ () () reading the book, I returned it to the library.
Tip 「読み終えた」のは「返した」よりも前のこと。
 After I (had) finished ... と同じ意味を分詞構文で表すと? 完了形の分詞構文。
- 185 山の上から見ると、街はとても小さく見える。
☐☐☐ () () the top of the mountain, the city looks very small.
Tip 「(街を)山の上から見ると → (街は)山の上から見られる」という受動の関係。

Grasp 10 分詞構文の主な意味

- ☐ 付帯状況・同時に起こっている2つの事柄 「～しながら、～の状態で」
 We stayed up all night(,) **talking** on the phone.
 (電話で話しながら、私たちは夜を明かした。)
- ☐ 時 「～する時に、～している時に、～していて」
 I hurt my knee **playing** soccer. (サッカーをしている時に、ひざをけがした。)
- ☐ 連続した動作や出来事 「～して(それから)…する」
Taking a key out of my bag, I opened the door.
 (バッグから鍵を取り出して、私はドアを開けた。)
- ☐ 理由・原因 「～なので、～だから」
Feeling sick, I went to see a doctor. (体調が悪かったので、医者に診てもらった。)

Words to Use spend / look at / difficulty / see

- 180 Many children **spend too much time looking at** screens.
☐ **spend A (in) doing** 「～して A (時間) を過ごす, ～して A (金・労力) を費やす」
☐ **look at a screen** 「(スマホなどの) スクリーン [画面] を見る」
- 181 Many families **have difficulty paying for** their children's education.
☐ **have difficulty [trouble] (in) doing** 「～するのに苦労する」
☐ **children's education** 「子どもの教育」
- 182 The man is drinking coffee(,) **reading a newspaper** in a café.
 F 108 ▶ 分詞句が副詞の働きをするものを**分詞構文**と呼ぶ。分詞構文がどういう意味を表すかは文脈による。⇒ Grasp 10 この文では「～しながら」という付帯状況を表している。分詞構文の前のコンマは付けても付けなくてもよい。
- 183 **Not knowing how to** use the app, I asked my friends for help.
 F 108 ▶ 分詞構文を否定形にする場合は、分詞の直前に not または never を置く。
 Because I **didn't know** how to use the app, I asked my friends for help.
 → **Not knowing** how to use the app, I asked my friends for help.
否定形の分詞構文
- 184 **Having finished** reading the book, I returned it to the library.
 F 110 ▶ 分詞構文の内容が、主節の動詞が表す時よりも「前」の時である場合は、**完了形の分詞構文 having + 過去分詞**にする。「～して」「～したので」。
 After I (had) **finished** reading the book, I returned it to the library.
 → **Having finished** reading the book, I returned it to the library.
完了形の分詞構文
- 185 **Seen from** the top of the mountain, the city looks very small.
 F 108 ▶ **受動態の分詞構文**は Being や Having been が省略され、過去分詞で始めることが多い。「～されると → ～すると」, 「～されて → ～して」。
 When it **is seen** from the top of the mountain, the city looks very small.
 → **(Being) seen** from the top of the mountain, the city looks very small.
 → **Seen** from the top of the mountain, the city looks very small.
受動態の分詞構文

⊕ 英作文や会話においては、183～185 のような否定形・完了形・受動態の分詞構文を無理に使う必要はない。because, after, when, so などの接続詞を使って表現すればよい。



186 祝日だったので、通りはとてにぎやかだった。

□□□ () () a public holiday, the streets were very busy.

Tip 主節の主語と分詞構文の主語が一致しない文なので、分詞構文に意味上の主語が必要。主節の主語は the streets 「通り」。分詞構文で表す「祝日なので」には、「時」を表す主語を置く。

187 いろいろ考えると、私たちは空港までタクシーで行ったほうがいい。

□□□ () () (), we should take a taxi to the airport.

Tip 「すべてのことが考慮されると」と表現する。意味上の主語を分詞の前に置く。

188 一般的に言って、人は変化を好まないものだ。

□□□ (G) (), people do not like change.

Tip 「一般的に言えば」を表す定型表現(慣用的な独立分詞構文)は?

189 ソーシャルメディアの影響を考慮すると、個人情報共有をしないことが重要だ。

□□□ () the (i) () (s) (m), it is important to avoid sharing personal information.

発展

Tip 「～を考慮すれば」を表す定型表現は?

190 外見から判断すると、彼はスポーツが得意かもしれない。

□□□ (J) () his (a), I think he might be good at sports.

Tip 「～から判断すると」を表す定型表現は?



Words to Use it / be / consider / generally / impact / appearance

186 It being a public holiday, the streets were very busy.

F 111

▶ 分詞構文の主語が主節の主語と一致しない場合、意味上の主語を明確にするため、分詞の前に意味上の主語を置く。これを**独立分詞構文**と呼ぶ。この文では、主節の主語は the streets, 分詞構文の主語は「時を表す it」。

Because **it was** a public holiday, **the streets** were very busy.

→ **It being** a public holiday, **the streets** were very busy.

独立分詞構文

⊕ 独立分詞構文はフォーマルな文書や文学的な表現として使われる。英作文や会話では、下記の慣用的な独立分詞構文以外は because などの接続詞を使って表現すればよい。

187 All things considered, we should take a taxi to the airport.

□ **all things considered** 「すべてのことを考慮すると」

▶ all things が意味上の主語。all things are considered という受動の関係。

188 Generally speaking, people do not like change.

▶ 慣用的な独立分詞構文では、分詞の主語が主節の主語と一致していなくても、分詞の前に意味上の主語を置かない。「不特定多数の人々」や「話し手」などが分詞の意味上の主語であり、わざわざ示さなくても意味が通じるためである。

□ **generally speaking** 「一般的に言えば」

189 Considering [Given] the impact of social media, it is important to avoid sharing personal information.

□ **considering A** } 「A を考慮すれば」
given A

○ **impact** ① 名詞「影響」 ② 動詞「～に影響する」

○ **avoid doing** 「～するのを避ける、～しないようにする」

190 Judging from his appearance, I think he might be good at sports.

F 111

□ **judging from [by]** A 「A から判断すると」

○ **appearance** 「外見」

○ **be good at A** 「A が得意だ」 ⇔ **be bad [poor] at A** 「A が下手だ、A が苦手だ」

File 27 その他の慣用的な独立分詞構文

□ **weather permitting** 「天気が良ければ」 = if the weather is fine [good, nice]

□ **frankly speaking** 「率直に言えば」 = to be frank with you

□ **strictly speaking** 「厳密に言えば」

□ **roughly speaking** 「大ざっぱに言えば」

□ **speaking of A = talking of A** 「A と言えば」

□ **considering (that) S' + V' = given (that) S' + V'** 「…ということを考慮すれば」

□ **taking A into consideration** 「A を考慮に入れると」

□ **depending on A** 「A に応じて」

□ **seeing (that) S' + V' 「…なので」 = because S' + V'**

□ **provided [providing, supposing] (that) S' + V' 「…ならば」 = if S' + V' ⇒ 247, 248**

□ **granted [granting] (that) S' + V' 「仮に…だとしても」**